

長良川河口堰付近の河床のヘドロを観察する参加者—25日午前11時43分、三重県桑名市長島町、長良川河口堰上流



のを前に、市民団体が25日、「長良川河口堰でヘドロを見る会」を三重県桑名市内で行い、環境悪化を確認した。同大会は豊かな川が豊かな海の恩恵をもたらすことをアピールする。これに対し、「市民による『豊かな海づくり大会』実行委員会」（岐阜市）は、河口堰の是非にも目を向けるべきだとして企画した。

河川環境を訴え
目線で河川環境を訴え
ほかに、市民ら約30人が

河川環境に悪影響を及ぼしている」

河口堰の環境考える 長良川で市民団体 河床のヘドロ採取

参加した。参加者は3隻のボートに分乗し、河口堰の下流と上流、河口堰横の損斐川の計4地点で河床の堆積物を採取。損斐川の採取地点では砂地にヤマトシジミの生息が確認されたが、長良川の河口堰上下流の採取地点ではヘドロのみで貝類は確認されなかった。

と語り、「全国豊かな海づくり大会を契りある大会にするためにも、長良川の現状に目を向けて」と参加者に呼び掛けた。

また、今本名誉教授は「河川工学者は治水や利水だけでなく、もっと環境に目を向けるべき。水資源機構は市民団体との環境調査や対話に積極的になってほしい」と語っていた。

（瀬見井芳信）

読売 10 4/26
岐阜版

2010年(平成22)



豊かな海へ

ヘドロを観察し
環境悪化考える
長良川河口堰で市民ら
関市などで6月、長良川
を主役に、「全国豊かな海
づくり大会」が開催される

河川環境を訴え
目線で河川環境を訴え
ほかに、市民ら約30人が

河川環境に悪影響を及ぼしている」

河川環境に悪影響を及ぼしている」

河川環境に悪影響を及ぼしている」

河川環境に悪影響を及ぼしている」

河川環境に悪影響を及ぼしている」